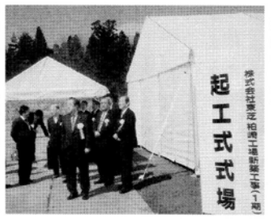
# がんばろう！輝く柏崎

## 大震災その後

## 東芝工場、２月操業
### EVタクシー全国１号




エコ化、東芝の電池工場進出などもあって、柏崎刈羽でEV（電気自動車）関連への動きが、活発化しています。商工会議所を中心に昨年、EV研究会（50社加入）が発足、さらに通産省の「PHV（プラグインハイブリット）地域」任定を受けました。柏崎タクシーが7月、全国初のEVタクシー2台を導入したのをはじめ、東北電力、市役所などで計19台になっています。2月からは充電設備のネットワーク化も始まりました。ただ走行がガソリン車と違って静かで、運転に慎重さが求められているそうです。

待望の工場建設が始まった東芝は、新産業団地「柏崎フロンティアパーク（軽井川、3万3千平方m）用地の約2割を占めます。県産業立地促進事業、市の用地助成などの補助支援を受ける予定であり、また柏崎刈羽原発の電源地域として8年間電気料金の減額などの優遇措置もあって、今後関連企業の進出も期待されています。

工場は10月に完成、来年2月量産開始の予定。製造の電池はCoiB（スーパー・チャージ・イオン・バッテリー）は、電動自動車、太陽光などの二次電池で、従来よりも長寿、急速充電・大容量などの特徴を持っています。

《貞観園オープン》江戸時代の名残りを残す岡野町の名園・貞観園（国指定文化財）が、4年がかりの修理を終わって、6月から一般公開になりました。天明4年（1784）に建立、貞観の命名は儒学者藍澤南城、老朽化が激しく4年前から修理していました。

《刈羽村へ米山の水》飲料水が決定的に不足の刈羽村に、柏崎の上水道が送られることになりました。村の水道は、2か所の簡易水道しかないため、来年10月に村が統合して給水することになったためです。村側は32億円を掲し、市村同一料金制がとられます。

《柏工、創立70周年》柏崎工業高校が10月31日、70周年を迎えました。

## 高校7回
## 絆を深めて　きずな

今回の幹事長大矢真太郎君の開会の挨拶に続いて伊藤肇君の乾杯の発声で、待ちに待った大宴会の幕開けとなった。

〈万歳も肩の荷もない同期会〉

座が乱れる前に一人一分の自己紹介。終わってみれば、なんと80分もかかっている。床が砂でジャリジャリした教室で、級友の前ではにかみながら、発表した純なあの頃がふと瞬を横切る。

〈スカッチ！〉は思い出の花の絵巻は、実に見応えがありました。それに尺玉300連発、尺玉100発1500m一斉打ちなども、絢爛豪華そのもの、実に衝撃と感動を連続させてくれる大花火大会でした。

中越沖地震の復興当生に力を注いだ大会でした。柏崎市民の切なる思いが十分に伝わりました。大会観覧準備に尽くからあたった地元幹事の苦労に、遠征組一同深く感謝いたしました。

（丸田実＝高8記）

## 引き続き３年目へ
### ２年目１２５０万円

新しい税のかたち「ふるさと納税」が、スタートして3日目。柏崎市では県外居住の関係者向けに、パンフレット作成などでPRしていますが、これまで初年度12万7件608万余円、21年度62件1250万余円でした。

制度は、新しい税金ではなく、自分で応援したい地方自治体へ寄付するもの。

しかも、選ぶと共に、寄付額で自分の住む自治体に納入した税金（所得税や住民税）が控除、軽減される仕組みです。

柏崎市の場合、21年1―12月までの寄付が130件の1511万余円が、新年度予算に組み込まれ、申込者の希望により次の事業に活用されます。

《中越沖地震からの復興と市長にお任せ＝370万2000円》日本石油加工跡地を含む柏崎駅前周辺の復興まちづくり推進事業に活用

《小学校の統合》子どもの大幅な減少で、統廃合が検討されています。平成24年度を目標に門出と高柳、南鯖石と鯖石、石地と二田、高浜と荒浜、野田と新道の各小学校がまとまる予定。

《ふるさと柏崎の名地域の再生・活性化＝81万100円》専門家による地域再生・小林義臣・岡庭治行・小山硯の4先生を囲んで、時を忘れて楽しいの話の輪が弾む、2次会、3次会と楽しさは盛り上がった。

翌朝、元気のいい10余人が米山登山に挑戦した。お互いの健康と活躍を願い、数年後の再会を楽しみにした一日であった。

（司会進行・本多満理子）

《全国都市緑化フェア》（愛称・花フェスタ）が、4月29日から10月31日まで、長岡市の悠久山公園と周辺で開かれます。

《対策部を解散》震災の発生と同時に設置、活動されていた災害対策本部は、市が4月30日、村が10月1日にそれぞれ解散しました。ピーク時には、市で902人、2世帯、247人が応急住宅に入りましたが、すべて完成の災害住宅（新潟通りなど）に容されました。村の方は、1世帯535人が利用。

## えんま堂、もう３年

平成19年4月16日午前10時13分。その時、私は抱いていた孫に、水槽の中の魚を見せていました。「さあ戻ろう」と言って、孫を抱き上げた時、「あ！　地震だ。「大震災」と思った瞬間、下敷きになっていました。

水槽がドサッと落ちて来まいました。間一髪で下敷きを孫を抱えて外へ飛び出すと、閻魔堂の向拝が倒壊、たった時、「あ！　地震だ。孫たちの乗ってきた車が、

家の前の名物堂、元の郵便局、裏の民家の3軒が倒壊しました。近くにある蔵という蔵のほとんども、倒れていました。その後、柏盛座跡の駐車場には、近所や町内の人々が避難してきました——。

あれからもう3年が経ともに、柏崎の上水道が送られ、柏崎の上水道が送られることになりました。村の水道は、2か所の簡易水道しかないため、来年10月に村が統合して給水することになったためです。村側は32億円を掲し、市村同一料金制がとられます。

《柏工、創立70周年》柏崎工業高校が10月31日、70周

年記念式典を挙げました。

同校は、昭和14年に柏中初は長岡工、戦争中には柏崎商業学校と合併したこともあります。同窓生1万3500人。

式典後、OBで元日立製作所多賀工場陸上部監督の富村修さんが「私の支えの輪は少年期にあった」の記念講演をしました。

《小学校の統合》子どもの大幅な減少で、統廃合が検討されています。平成24年度を目標に門出と高柳、南鯖石と鯖石、石地と二田、高浜と荒浜、野田と新道の各小学校がまとまる予定。

《少子高齢社会に対応した健康で安心して暮らせる町づくり1024万円》

《ふるさと柏崎の名地域の再生・活性化＝81万100円》専門家による地域再生・小林義臣・岡庭治行・小山硯の4先生を囲んで、時を忘れて楽しいの話の輪が弾む、2次会、3次会と楽しさは盛り上がった。

翌朝、元気のいい10余人が米山登山に挑戦した。お互いの健康と活躍を願い、数年後の再会を楽しみにした一日であった。

（司会進行・本多満理子）

《対策部を解散》震災の発生と同時に設置、活動されていた災害対策本部は、市が4月30日、村が10月1日にそれぞれ解散しました。ピーク時には、市で902人、2世帯、247人が応急住宅に入りましたが、すべて完成の災害住宅（新潟通りなど）に容されました。村の方は、1世帯535人が利用。

## 震災後の復旧終わり
### 原発２基稼動

《原発2基、運転再開》震災後に復旧工事を進めていた東京電力柏崎刈羽原発の発電機（計7基）のうち、7号機（出力135万6千kW）が12月28日、営業運転を再開しました。次いで6号機（同）も1月19日に再開、中止してから約1年半ぶりです。

また緊急使用停止中の1号と5号機も、1月12日命令を解除されました。

《商工会議所70周年》昭和7号機（出力135万6千kW）が12月28日、営業運転を再開しました。次いで6号機（同）も1月19日に再開、中止してから約1年半ぶりです。

また緊急使用停止中の1号と5号機も、1月12日命令を解除されました。

《商工会議所70周年》昭和15年4月17日、市制の施行を前に柏崎実業協会を母体に発足しました。4月26日に記念式典と講演がありました。

## 11万リーダーの苦労を聞く
### 21年の総会

平成21年度の東京柏会総会は7月9日夜、丸の内の日本倶楽部で開かれました。柏崎から新任の母校校長・浅野勝隆、同窓会の土田新吾会長、広川俊男（高20）、武田敏道、市川茂彰、益郎、関正一郎、18徳間伸宣、19西川孝純、阿部秀夫20近藤史朗、矢代隆義、棚岡滋、永井伸、橋本理、地田寿夫、吉田隆、田辺敏、飯塚利貞、中野時衛、中山真、中川久義、竹田正明、10三宮誠一、広田和雄、12近藤健彦、高野毅、近藤直紀、新田真章、吉田正、阿部新一、平松篤、13今井健子、猪爪博、田村明敏、三井田

今晩は。今晩がドドキ年。売り上げ2兆916億円、営業利益745億円、純利益665億円です。従業員は11万人、うち外国人6万5千人、311社があり、

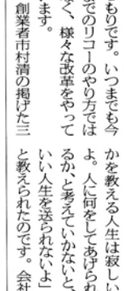
1936年創立、今年で73年。死で亡ガンバリました。人生はじめてです。

デジタル開発で、売り上げがそれまでの2倍の2兆円に達し、ヨーロッパ、アメリカに販路をどんどん開

## 世界を目指すリコー
### 近藤社長ミニ講義　奥深い緑の柏崎

拓しました。昨年の今ごろ、アメリカで世界最大の事務機販売会社アイコン社を約1700億円で買収、開発とデジタル化に大きな業績をあげています。

売り上げの6割を海外で占め、私は6代目の社長です。私は西山町生まれ、兄弟9人。会場には兄も来ていますが、親たちが、経済にも大変苦労しているのを



業績と汗、もとの生活に戻りたいなんて思いは、開発関係の役目が1年ごとに上がって行く、もうそれどころのあるとは、思いも寄りませんでしたからです。

リコーは、大河内正敏さんが第3代として活躍された理化学研究所から出発し、リケンなどのある柏崎とは、大変縁が深いので。

愛の精神――「人を愛し、国を愛し、会社を愛す」こと、もう二度若い世代に伝えて行く、もうそれどころのあるとは、思いも寄りませんでしたからです。

リコーは、大河内正敏さんが第3代として活躍された理化学研究所から出発し、リケンなどのある柏崎とは、大変縁が深いのです。

今晩は。今晩がドドキ年。売り上げ2兆916億円、営業利益745億円、純利益665億円です。従業員は11万人、うち外国人6万5千人、311社があり、

1936年創立、今年で73年。死で亡ガンバリました。人生はじめてです。

デジタル開発で、売り上げがそれまでの2倍の2兆円に達し、ヨーロッパ、アメリカに販路をどんどん開

## 集まった人たち

【高20回（数字は組）】1木村敏明、田辺実、三井田隆、浅賀千穂、2山田哲治、志、伊原一夫、中島直人、宮島俊郎、宮木善彰、篤輪吉博、田村哲、橋勉、石塚美津子、藤島孝子、近藤知意子、佐野ひろみ、3岡川守、上杉茂樹、若山峰男、佐藤正司、藤田敏、山田博文、須田衣子、相田憲子、猪股康4重原芳樹、伊藤洋二、吉田隆、重藤久美子、5押見克史、土田孝則、佐藤

昭、伊原一夫、中島直人、村敏明、田辺実、三井田隆、浅賀千穂、2山田哲治、志、伊原一夫、中島直人、宮島俊郎、宮木善彰、篤輪吉博、田村哲、橋勉、石塚美津子、藤島孝子、近藤知意子、佐野ひろみ、3岡川守、上杉茂樹、若山峰男、佐藤正司、藤田敏、山田博文、須田衣子、相田憲子、猪股康4重原芳樹、伊藤洋二、吉田隆、重藤久美子、5押見克史、土田孝則、佐藤

加藤裕子、8福山義男、井雅一、藤橋善一郎、市川速、内山素晴、押見正孝、山田悦民、小関幹夫、白川正美、西脇武志、吉岡邦夫、近藤容人、市川美保子、今井静子、9阿部俊昭、武本和幸、川合聖一、馬場勝正、横関米昭、伊山清吉、小網和博、沼岡一英、横村真司、種岡彦。

【高20回（数字は組）】1木